

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+19%、前年同月比+12%。売上高は前月比+19%、前年同月比+6%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

様々なコストの上昇が続いており、収益性が悪化している。また、他都市で見られるようなインバウンド特需については、特段大きな効果を実感できていない。

(繊維・衣服)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

金利上昇による借入コストの増加と、円安進行に伴う輸入品価格の高騰により、二重の負担が生じている。

山陽テクノ協同組合

現在、仕事量は増加傾向にあり、前月比では売上が増加した。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全 国】

8月の新設住宅着工戸数は60,275戸で前年同月比▲9.8%、季節調整済年率換算値では711千戸(前月比▲0.1%)となった。利用関係別では、持家は17,532戸で前年同月比▲10.6%、貸家は26,585戸で▲8.1%、分譲住宅は15,819戸で▲8.2%、また木造住宅は37,046戸で前年同月比+0.1%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家、貸家及び分譲住宅とも5ヵ月連続の減少となっているものの、木造住宅については再びの増加となった。

【広島県】

8月の着工戸数は1,114戸で対前年同月比▲8.2%、うち持家は309戸で▲10.7%、貸家は435戸で▲22.5%、分譲は366戸で+19.2%であった。県全体の住宅着工戸数の前年同月比は4ヵ月連続で減少し、延床面積も対前年同月比▲2.8%となっており、木材需要の見通しは厳しい状況にある。

最低賃金上昇による人件費増が深刻化し、プレカット工場の受注も低調。為替・地価上昇等で住宅高価格化が進み、木材需要の見通しは厳しく、需給動向の注視と柔軟な対応が必要。

福山木材協同組合

売上等は前年同月比では減少しているが、今後2~3ヶ月は上昇する見込みである。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

材料費や人件費の上昇分を取引価格に反映する動きが少しずつ出てきている。業界全体では官公庁からの受注案件を中心に、適正価格での発注を推進する取り組みを強化している。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

事業環境に大きな変化はない。競争力維持には高品質製品の早期投入が不可欠である。従来製品は原価低減要求が続き収益性が低下しているため、脱スチール・樹脂化に対応した新技術開発と、生成 AI 活用による業務効率化が必要である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

前月比では大型連休などがなく、月合計でみると生産量が増え、売上高も増加した。しかし、日々の設備稼働状況でみると変化はなく、厳しい水準が続いている。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和7年09月 2,525 m³ (前年比114.6%)

令和7年08月 1,939 m³

令和6年09月 2,203 m³

・令和7年度想定数量 700,000 m³

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比▲27.2%、前年同月比▲1%となった。米国による関税措置の対象が鉄鋼やアルミ製品(原材料)だけでなく、派生品や二次製品などへも拡大されることへの影響が懸念される。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比▲32%、前年同月比+69.7%となった。コロナ禍後の反動増の時期を経て、現在は低調に推移している。

●鉄鋼業

(鉄鋼業)

軋鉄鋼協同組合連合会

9月も残暑が厳しく、生産性の低下は避けられない状況である。また、人手不足の解消には程遠く、企業側の対策も進んでいない。何をどうすればよいか分からないまま、その場しのぎで外国人技能実習生に頼っているのが現状である。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

(9月度自動車国内販売動向)

全需は388千台、前年同月比▲4.4%と3ヶ月連続で減少(登録車は▲6.8%、軽自動車は▲0.9%と共に減少)。マツダ車は+0.4%と増加(内訳:登録車+5.5%(10.6千台)、軽自動車▲13.9%(3.1千台))。

(8月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,480千台で、前年同月比+4.0%と2ヶ月連続で上昇。マツダは▲7.6%と減少。

欧州の全需は876千台で、前年同月比+5.8%と2ヶ月連続で増加。マツダは▲22.0%と5ヶ月連続で減少となった。

中国の全需は1,930千台で、前年同月比▲0.4%で微減。マツダは+9.5%と増加。

マツダの8月の海外販売は、全ての地域で奮わず、合計台数は86.3千台、前年同月比▲9.0%と大きな減少となった。

(8月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比▲7.6%と減少。国内生産台数は、前年同月比+2.3%と増加。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和7年8月の船舶建造許可実績は1隻、25,200総トンであった(前月3隻89,100総トン、前年同月2隻29,830総トン)。なお、内訳は、輸出船が1隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・9月の売上高は前年同月比と前月比ともに横ばいだが、原材料費、燃料費、物流費の上昇により収益は悪化している。今後も食料品を中心に値上げが予定されているが、価格転嫁への対応は各社ばらつきがあり、収益改善につながっていない
- ・組合員の倒産や廃業が今月から増加している。過剰債務、収支悪化、後継者不足などが主な要因である

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

当月の売上状況は、前年同月比で横ばい、前月比で減少した。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・8月度の中央市場水産部では、物価高騰により小売・外食業の消費が低迷しているが、サンマは数年ぶり

の豊漁となり、サイズも大きく順調に売れている。一方、組合員の高齢化が進み、事業承継がほとんど行われていない。鮮魚流通に携わることが「割に合わない」状況が続いており、この問題を改善する取り組みが必要である

- ・8月度の中央市場青果部では、取扱高が前年同月比104.2%、入荷量は101%となった。広島市中央卸売市場の建替えに伴う新市場の計画案では、買荷積込所（市場において、仲卸業者などが仲介せず、卸売業者から直接商品を仕入れる（買い付ける）ために商品を積み込む場所）の不足が明らかになっている。しかし、特に零細業者は廃業を視野に入れているのか、当事者意識が乏しい状況である

協同組合三次ショッピングセンター

核店舗のスーパーマーケットが好調で、施設全体の売上は前年比109%、客数は前年比107%と、業績は毎月伸びている。しかし、売上は増加しているものの、人件費や仕入価格の高騰により経費が上昇しており「利益が増えている実感はない」という声が多い。10月以降はさらに仕入価格が上昇する見込みで、販売価格への転嫁が避けられない。このため、生活必需品以外の物販店舗では、消費者の買い控えを懸念している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年9月度販売実績85%（前年同月比）。AV商品83%、白物商品91%、薄型テレビ88%（内有機EL72%）、DVD81%、冷蔵庫82%、洗濯機98%、IHクッキングヒーター102%、エコキュート104%、エアコン86%、炊飯器96%、電子レンジ99%、掃除機96%。

販売会社による専門店支援が弱くなってきており、製品の品切れも頻発しているため、販売店は困惑している。今後、海外（中国・台湾）メーカー製品の市場参入が増加する可能性が高まっているが、品質面での課題が懸念される。

●商店街

呉本通商店街振興組合

- ・当商店街で永年営業を続けておられた「老舗」婦人衣料店が閉店された。近年、同商店街で新たに開店したのは、概ね飲食関係（ハンバーガー店・カレーショップ等）の店舗であり、商店街の様相は大きく変化している
- ・前月より着手していた「アーケード支柱改修事業（5工区）」が完成した。この事業は、呉市の奨励金を受けアーケードの長寿命化のため、総額約2千万円、6年計画で実施しているもので、令和8年度で完了となる

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+44.3%、前年比▲6.3%
- ・車検場収入は、前月比+36.7%、前年比▲7.3%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+36.6%、前年比▲6.6%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

仕事量が増加してきたが、売上への貢献は見られない。今後も売上減少が続く見通しである。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比▲40%、前年同月比▲50%となった。物件数について、カーテンが▲70%、敷物が+45%、壁装クロスがほぼ横ばいとなっている。また店舗、マンション、住宅ともに低調で、頭打ちの状態が続いている。

福山地区電気工事業協同組合

9月分の受付件数は、537件と前年同月比で66%となった。2023年度・2024年度は官庁関係の受注があり件数が伸びたが、今年度は苦戦する見込み。

神辺建設業協同組合

業況に大きな変化はない。受注量の増加により売上は伸びているものの、原材料費等の高騰により収益性が悪化している。

（運輸業）

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比と前年同月比とも増加となった
- ・軽油価格は、原油高と円安に加え政府補助金が減額されたため、値上がりとなった

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・9月は8月のお盆明けから仕事量が増え、前月比で売上・収益・資金繰りが改善した。前年同月比では変化なし
- ・今年度は固定資産評価作業により収入増の見込み。不動産市場では人材不足で新築工事が遅れ、戸建・共同住宅の販売が減少している
- ・新築マンションは土地・建築コスト上昇で価格が高騰し、専有面積縮小で対応するも売れ行きは鈍化。中古マンションも価格は高止まりしており、今後は中古物件購入後のリフォーム・リノベーションが増加する見通し